

平成の世も残り一月余り。来月末には現在の天皇皇后両陛下が退位されます。お二人の凛として温かく、仲睦まじいお姿を拝見する機会が少なくなってしまうのは少し寂しいですね。

平成の30年間を通して、着実に知名度を増してきた新美南吉ですが、なんといつても画期になったのは、平成10年のIBBYニューデリー大会で講演された美智子様が、南吉の童話「でんでんむしのかなしみ」に触られたことでした。

IBBYの正称は、国際児童図書評議会です。第二次世界大戦直後、亡命先からドイツに帰国したユダヤ人女性が、荒廃したドイツの子供たちに絵本を贈ろうと呼びかけたことから始まりました。児童文学のノーベル賞と言われる国際アンデルセン賞を主催し、平成6年に日本の詩人まど・みちおが受賞した際、詩集の英訳をされたのが美智子様でした。

美智子様が基調講演をされる予定でした。ところが、インドが核実験を行ったため、日本政府は美智子様の訪印中止を決定。「子供の本を通しての平和」という大会テーマに添い、自身の幼少期の読書について語る準備をされてきた美智子様は、大会初日の大切な講演に穴を空けてしまうことには大変心を痛められたといえます。

その時、講演をビデオに撮って大会で流すことを進言した一人が、美智子様の訳によるまど・みちおの英訳詩集を出版したすえもりブックスの代表、末盛千枝子さんです。末盛さんはNHKのスタッフと共に御所を訪れ、英語・日本語二通りでの収録に立ち会い、そのテープをインドまで届けました。

大会出席者は、スクリーンに映し出される美智子様のご講演を食い入るように見つめていたそうです。ビデオが滞りなく上映されたことは電話で日本に報告され、数時間後には、NHKが52分間のご講演をノーカットで全国放送。

その後、何度も再放送され、すえもりブックスからは講演録『橋をかける』として出版もされました。

「でんでんむしのかなしみ」を例に挙げながら、他の人の悲しみを知り、自らの悲しみに耐える強さ持つ大切さを説いた美智子様のご講演。核実験による訪印中止というハプニングを乗り越えた裏には、美智子様の思いを世界に伝えようとした人々の努力があったのです。

貝殻忌講演会



「人生に大切なことは すべて絵本から教わった」

講師 末盛 千枝子氏
絵本編集者、元すえもりブックス代表
3.11絵本プロジェクトいわて代表

日時 3月21日(祝) 10時～12時

場所 雁宿ホール講堂

料金 無料・予約不要

問い合わせ 新美南吉記念館 ☎26-4888

アンケート

- Q1 今号でよかった内容や写真があれば教えてください。
- Q2 今号を読んだことがきっかけで行動したこと、または、したいことはありましたか。
- Q3 市報で取り上げてほしい内容や企画、広報に関するご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

回答方法

住所、氏名、年齢、アンケートを書いて、ご送付ください。

あて先

〒475-8666
東洋町2-1 企画課
Eメール
kouhou@city.handa.lg.jp



少 しずつ春らしい暖かい気温になってきました。春といえば桜の季節。今年も雁宿公園の桜を見るのが楽しみです。

ところで、桜は川や土手周りによく植えられている傾向がありますが、なぜでしょうか？

江戸時代、大雨が降ると川が氾濫し土手の決壊が起りました。土手の近くに桜を植えれば、お花見目当ての人が来て、結果的に踏み固めてくれて決壊を防げます。当時の人々が考えたそうです。

私たちも、こういった先人の知恵を見習いたいものです。
(浅野)

編集後記